

川崎地域連合

2019 年度に向けた政策・制度要求と提言について 川崎市より回答を受領！

12月13日（木）川崎市役所第3庁舎にて、福田市長から2019年度に向けた標記要求に対する回答書を受領しました。

2019年度に向けたの重点要求として、①JR南部線の輸送力増強と駅の安全対策、②横須賀線「武蔵小杉駅」の混雑緩和と安全対策について、③地域包括ケアシステムの確立、④すべての世代が安心して暮らすための方策について⑤生活困窮者支援について、⑥フードバンク活動の普及と食品ロス削減の推進について、⑦ヘイトスピーチに対する取り組み、⑧洪水・浸水に対する取り組みについての8項目。また、対市要求として「産業・労働・雇用」「都市整備」「健康・福祉・医療」「平和・人権」「行政」「道路交通」「生活環境」「環境・エネルギー」「教育」の分野から43項目の回答をいただきました。



福田市長から回答書を受領

回答会議は冒頭、福田市長より「毎年、働く立場、地域に根差した内容について提言をいただいている。課題を一緒に解決していくパートナーとして引き続き、ご指導をお願いしたい」と挨拶されました。その後、市の回答に対し、委員から多くの質問・意見が出され、活発な意見交換の場となりました。

川崎地域連合 藤吉議長からは「川崎市から丁寧な回答をいただき感謝したい。全てのことがすぐにできるとは思っていないが優先順位をつけて着実に進めてほしい。回答については持ち帰り内容を精査させてほしい」と述べ、一層の協力を確認し合いました。



挨拶をする福田市長



挨拶をする藤吉議長